

¥0

Free

No.4
2013 年冬号

渡来文化が集まる街

善通寺から
みえる世界遺産

散策 善通寺

ふる里の風景を歩く



空海の里を
再発見する

特集

帰りたくなる
ふる里の灯り

必携の
散策ガイド

雪化粧の五岳山





弘田川

金倉川

天霧山

弥谷寺

金蔵寺

榎湧 (永井の湧水)

曼荼羅寺

鷺井神社

甲山寺

下湧

筆の山

ひょうたん池

香色山

街角コース

出釈迦寺

市民集いの丘公園

善通寺駅

我拝師山

旧偕行社

禅定寺

善通寺

四国学院大学

二頭湧

赤レンガ

金毘羅燈籠

王墓山古墳

大麻山

宮が尾古墳

野田院古墳

葵の瀧

龍王社

琴平駅

金刀比羅宮

琴平山 (象頭山)

善通寺市散策マップ

大麻山

五岳山

弥谷山

瀬戸内海

多度津



善通寺

善通寺と丸亀平野（飯野山より）

二千年にわたる文化が集まる善通寺市

古来、瀬戸内海は北九州と畿内を結ぶ主要な交通路で、大陸文化もここを通過して渡来しました。その瀬戸内海にほど近く、古代の南海道なんかいどうが敷かれた善通寺市には、さまざまな文化が集まりました。明治になると、陸軍第 11 師団によって西洋文化が浸透し、戦後は大学や試験場、病院が最新の研究成果をもたらしました。新旧さまざまな文化が集積した善通寺市にともる灯りには、懐かしいふる里の香りがします。

帰りたいなる ふる里の灯り

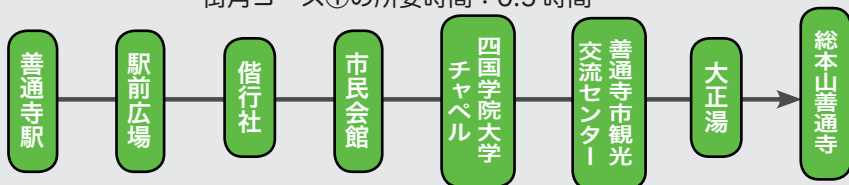
街角コース

二千年以上の歴史を誇る善通寺市には、さまざまな時代の文化の痕跡が見られます。そんなふる里の街がともす灯りをめぐります。

コース
紹介

新旧の歴史を照らす灯り

街角コース①の所要時間：0.5 時間



街角コース

光の回廊



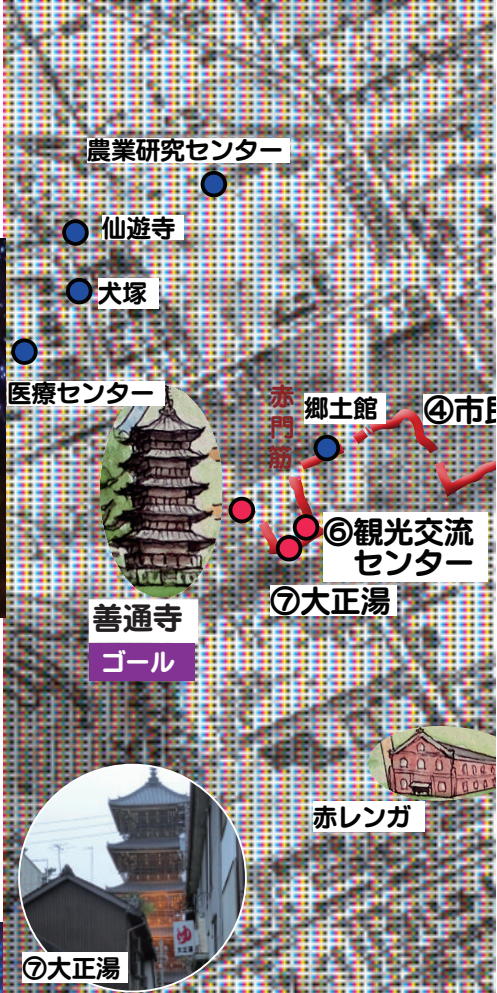
①善通寺駅前

毎年クリスマスが近づくと、大正時代の趣きが漂う善通寺駅の駅前通りは、温かなイルミネーションで彩られます。駅前の輝きは、一日が終わって家路に急ぐ人々を暖かく包み込みます。



②駅前広場

市民の自慢の洋風ガーデンは、夕闇に幻想的な空間をつくり出します。足下を照らすベンチからの眺めに、異世界に迷い込んだような錯覚に落ち入ります。



農業研究センター

● 仙遊寺

● 犬塚

医療センター

赤門筋
郷土館

④市民



善通寺
ゴール

⑥観光交流
センター

⑦大正湯



赤レンガ



⑦大正湯



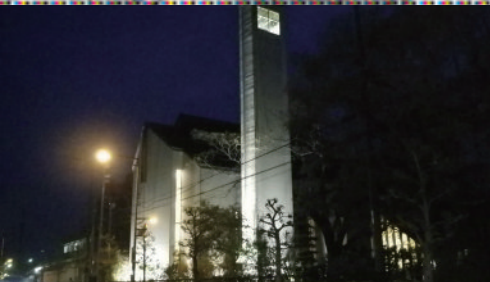
⑥善通寺市観光交流センター

この市民による観光情報の拠点は、昭和初期に建造された料亭「すし傳」を修築したもの。穴場情報がそろっています。



かいこうしゃ ③旧偕行社

旧陸軍将校の交流の場だった旧偕行社は明治36年の建造。軍都の名残りとどめるこの建物には、おしゃれなカフェがあります。明治の風情を楽しんでから、光の回廊の散策に出かけてもいいかもしれません。



⑤四国学院大学・チャペル

旧陸軍兵舎跡地に設立された四国学院大学のチャペルは、夕闇の善通寺市に儼かな雰囲気漂わせています。



④市民会館

盛りだくさんの行事が行なわれる市民会館。ガラス越しにこぼれてくる光から、行事に関わる人々の活気が伝わってきます。



街角再発見

渡来文化が集まる街

先史の遺跡が眠る空海の遊び場

善通寺市街北の弘田川沿いには、縄文時代後期から中世にかけて大集落が広がっていました（旧練兵場遺跡群）。多数の竪穴式住居や掘立柱建物跡、鎌倉時代の条里制の遺構などが発掘され、石棺や土器、銅鐸など多種多様な遺物が見つかっています。また、白鳳時代の創建という仲村寺廃寺が発掘され、近隣にいくつもの円墳があることから、弥生・古墳・飛鳥・白鳳時代にわたって大切な土地だったようです。

また、ここには幼少の空海の伝説が残ります。真魚まおと呼ばれた幼少の空海が仙遊が原で遊んでいると、勅使ちよくしが通りかか

した。勅使は真魚少年を守護する四天王を感じとり、遊んでいる真魚に合掌礼拝したと伝えられます。

明治に旧陸軍の練兵場だったこの土地は、戦後に国立の農業試験場や病院に転用され、生物関連の新しい技術が次々ともたらされています。21世紀には、どんな文化へと発展するのでしょうか。





善通寺伽藍（香色山より）



旧陸軍兵舎（現四国学院大学）



林立する洋風建造物

明治になると、旧陸軍第11師団が善通寺におかれ、善通寺は軍都として整備されました。これにより、さまざまな洋風建築物が建てられました。市役所の背後の旧借行社、四国学院大学構内の旧兵舎や司令部など陸軍関連の建築物のみならず、軍人御用達の写真館や酒店など民間にも洋風建築物が現れました。こうした洋風建築物は、市街にレトロな風情を漂わせています。

景観の世紀とされる21世紀、駅前通りの再整備により、レトロな風情と現代的な活力を統合させることに成功しています。



唐の最新の仏教が伝来した寺

唐の留学から帰朝した空海は、807年、帰京が許される前に、ふる里の地に善通寺を建立したといわれます。寺伝では、留学先の青龍寺を模して伽藍が配置されたと伝えられていますが、のちに焼失しており、江戸時代に現在の伽藍が再建されました。

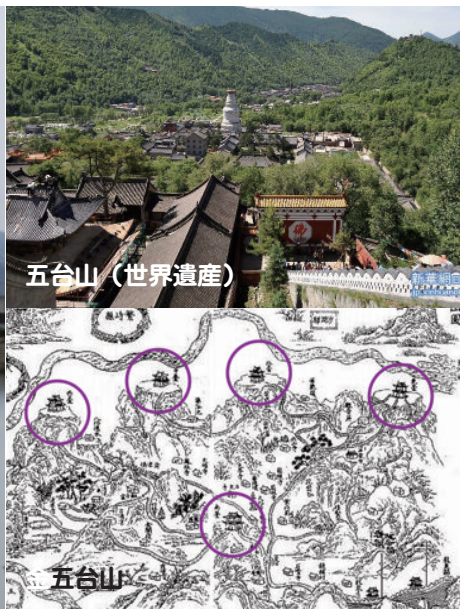
江戸時代の観光案内書、金毘羅参詣名所図会では五重塔が描かれていますが、この時には再び焼失していたようです。また、南大門もまだありませんでした。いずれも明治になってから再建されました。

善通寺からみえる 世界遺産

五台山

五つの峰

釈迦の掌に見たてた山々



世界遺産になった五峰の山

古くから^{もんじゆほさつ}文殊菩薩の聖地として知られる^{ごだいさん}五台山（中国山西省）は、三千メートルの山並みに山岳仏教寺院が林立し、その文化的景観が評価されて、2009年に世界遺産に登録されました。

五台山は東西南北中の五方の峰からなるため、釈迦の掌（五本の指）に見たてられました。最盛期には三百以上の寺院があったといわれ、空海が師事した恵果の師、不空が建立したという金閣寺もその一つでした。天台座主になった慈覚大師^{えんにん}円仁もここを訪れ、法華経と密教の未決問題の解答を得たといえます。

こがくざん 五岳山

善通寺の裏手に位置する五岳山は、最も手前の香色山から筆の山、我拝師山、中山、火上山へと連なっています。香色山には平安時代の^{きょうづか}経塚（写経した経巻を聖地に埋納したもの）が発見され、筆の山の麓や中山と火上山の間には山林寺院跡が見つかっています。

幼少の空海の捨身誓願伝説が伝わる五岳山は「釈迦の掌」状ではありませんが、古くより山麓山中に山林寺院が建てられた聖地として、大切にしたい風景です。

五岳山の「五」のルーツ??

善通寺の背後にそびえる五岳山に限らず、香川県には五色台や五剣山など「五」を冠にする山は少なくありません。中国では、釈迦の掌（五本の指）に見たてた靈山が世界遺産に登録されました。日本の密教と深い関わりのある靈山です。



犬塚



仏塔（大白塔・五台山）



善通寺の五重塔

空海の養犬伝説（犬塚）

唐に留学中の空海が五台山やインドを訪ねた史実はありませんが、伝説では、空海がインドの薬草の種を国外に持ち出そうとした際に、自分のせいで死なせてしまった犬を蘇生させ、日本に連れ帰ったといわれます。その犬が死ぬと犬塚がつくられ、バンという大日如来を意味する梵字ほんじが刻まれました。善通寺では、インドや中国の文化をさまざまな形で見ることができます。



善通寺赤門

五重塔

善通寺市のシンボルになっている五重塔は、ぶつしゃり仏舎利（釈迦の遺骨）を納める仏塔で、五層の屋根は下から地・水・火・風・空の五大という世界観を表しています。同様の思想から、日本各地で供養墓の五輪塔がつくられるようになりました。

五重塔のように二階建て以上のものをそうとう層塔といい、京都の鹿苑寺金閣もこれに相当します。インドの仏塔は中国の建築様式と融合して日本に伝わり、層塔になりました。さらに転じて、細くて高い建築物を「塔」と呼ぶようになりました。塔の本来の意味は墓だったんですね。

製作中

善通寺一高によるアートベンチ

善通寺駅の広場にアートベンチがお目見えします。モチーフはオニバス。オニバスは日本のため池の代表的な植物でありながら、絶滅の危機に瀕しています。善通寺市は、この絶滅危惧植物を普通に見ることができる貴重な町です。こうしたことを知ってもらおうと、善通寺第一高校の生徒たちが、オニバスをモチーフにしたアートベンチをデザインしています。新しい文化の出発点になるかも。



オニバスの花とアートベンチのイメージ



予定地

善通寺駅

善通寺駅は四国最古の駅舎として知られ、大正11年に改築されました。木造の本屋から張り出した車寄せのポーチに特徴があります。登録有形文化財に登録されました。

季節がめぐる街の公園

庭園、ひとくちメモ（4）

庭園にはいろいろな景物や構造物、モニュメントなどが置かれます。その目的は様々ですが、景色の一翼を担っています。

外国人に難解な日本庭園も、赤い太鼓橋や燈籠を置くことで、日本庭園を連想できます。イギリスのキュー・ガーデンにある日本庭園では、西本願寺の^{さいほんくわん}勅使門を模した門が日本庭園であることを表しています。

何気なく置かれた構造物やモニュメントが、見る人に強い印象を与えています。



ガーデン内の日本庭園

樹木の模型のベンチ

イギリス

キュー・ガーデン

キュー・ガーデンは植物の研究成果の普及にも務めています。人々が身近に感じるように、樹木や動物の体のしくみを模型にしたベンチを置いています。

比べてウォッチ！



五岳山



崩落

五剣山



五色台

「五」を冠る山

香川県には、名前に「五」を冠る山がいくつかあります。善通寺背後の五岳山、八栗寺のある五剣山や五色台があげられます。

五岳山は五つの山、五剣山は剣に喩えられた五峰（一つは宝永の地震で崩落）からなります。五色台も、赤、黄、黒、青、白の五峰からなりますが、山の形ははっきりしません。五行説の五方を表す五色とされ、浄土をもつ阿弥陀如来が配される西方の白峯には、崇徳上皇の御陵があります。

風景をたのしむまめ知識



黄金色の稲

真っ白な小麦



稲のヒコバエ

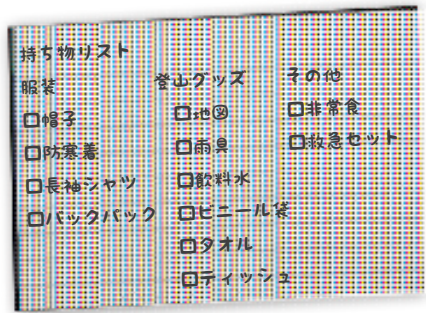
ヒコバエの稲穂

黄金色のイネと真っ白なムギ

黄金色の稲穂が刈られると、白い冬が駆け足でやって来ます。稲が早植え、早刈りされる田圃は、ヒコバエによって緑色に染まります。一方、真っ白になって刈られたムギは、そのまま田圃で焼かれます。収穫後の田圃の色は春と秋で随分違います。

稲と麦は同じイネ科の植物ですが、稲は熱帯湿原、麦は冬雨乾燥地の原産です。そのため、稲は環境が許せば次々と茎をつけますが、麦は過酷な乾期を種で過ごします。風景には、植物の生き方の違いが見えます。

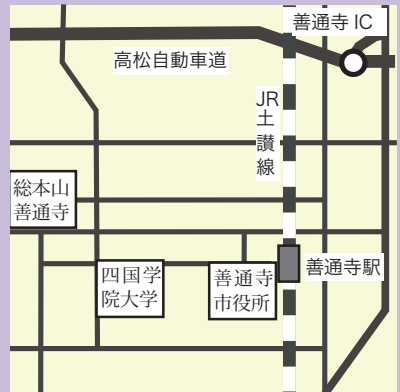
ヒコバエ（蘗）とは、植物の切り株から出る若芽や茎で、稲では穂がつくこともある。



散策の心得

- ・履きなれたシューズで出かけよう。
- ・自分のペースでゆっくり歩こう。
- ・防寒対策も忘れずに！
- ・車には十分注意しよう。
- ・ゴミは必ず持ち帰ろう。
- ・ペットの糞対策も忘れずに！

アクセス



バック・ナンバーは左のエコ「散策 善通寺」より閲覧できます。
<http://shigakuweb.jindo.com>

制作・お問い合わせ

四国学院大学
 四学ウェブ

(shigakuweb@yahoo.co.jp)

制作協力

善通寺市役所土木都市計画課
 (Tel. 63-6314)

参考文献

みちくや遍路 2001

